

無償化で保育ニーズ増す

待機児童解消、「全集中」で

最大の課題は保育士確保

小郡市議会議員 しんばる善信後援会だより

つなぐ

発行
しんばる善信後援会
小郡市小郡1304-2
0942-73-2123



施設整備に一定の目途 保育士確保に注力

小郡市の保育待機児童数は、平成27年以来増え続け、一昨年10月から3歳以上が無償化されたことにより一段と増えています。これに対し、市は保育施設の建替えや増築で受け入れ人数を増やしてきました。しかし一方で、保育士不足は依然深刻です。しんばる議員は、今後の受け入れ児童数の見通しと保育士確保のための具体的計画について質問しました。

現在の待機児童64人

小郡市では、平成27年に初めて44人の待機児童が発生し、昨年10月現在64人となっています。出生数は減っているのに待機が増えていくのは、子どもを預けて働く親が多くなったためです。

待機児童97%が3歳以下

待機児童を年齢別に見ると、0歳から3歳までが97

増して359人増やしてきました。さらに整備を進め、今後2年間でほぼ全員を受け入れられる目途が立ったとしています。

保育士確保に重点移す

加地市長は、今後、保育士の確保と保育サービスの拡充・多様化の実現を目指す施策へ重点を移すと答弁しました。

インターンシップで小郡の保育の魅力・やりがい発信、保育士確保につなぐ

保育士資格を持っている人は多くいますが、なりては多くありません。保育という仕事がかついでに十分な待遇が保障されていないのが一番の理由です。

小郡市は、就職支援金や、引越支援助金、賃金改善等に取り組んできましたが、まだ十分とは言えません。国に対し保育士の処遇改善

を一層強く求めていかなければなりません。

処遇改善と合わせて重要なのは保育という仕事の喜び・やりがいを実感できるようにしていくことです。

そのことが若い保育士の職場への定着、離職防止につながります。

小郡市保育協会では、学生のインターンシップ制度で小郡の保育の魅力を伝えようとしています。しんばる議員は、この制度推進に向け、市の全面的協力を求めました。

三国幼稚園跡地問題 2月に方針決定

小郡市は待機児童解消のため、三井認定こども園開設支援を行いました。ここでも保育士不足のため効果が出ていません。また、三国幼稚園跡地に幼児施設を検討するしてきましたが、未だに結論が出ていません。2月に決定するということなので、十分説明するよう求めました。

増え続ける不登校、人も時間も足りない

不登校、緊急事態

多様な子どもの状況に応じた支援重要

市内の小中学校で不登校の子どもたちが一段と増えています。新型コロナウイルスによる臨時休校と学校再開後の制限された学習活動等の影響があるのではないかとの指摘がありますが、今のところはつきりした因果関係は分かっています。いずれにしても、増え続ける不登校の子どもたちにとってどう対応したらよいものか学校現場では試行錯誤が続いています。これらの子どもたちに対しては特に一人ひとりに応じたきめ細かな個別指導や家庭訪問などが必要のため、担任だけでなく、専門に指導に当たる職員員の配置など行政の支援が欠かせません。しんばる議員は教育委員会の取り組みについて質問しました。

小・中ともに増加

令和元年度の全国の不登校児童生徒数は、史上最多の18万人を超え、7年連続で増加しており、極めて深刻な状況です。小郡市でも増加傾向で、特に令和元年度は、小学校31人（前年比15人増）、中学校66人（9人増）と急増しています。

原因は多様で複雑化

不登校の原因は、家庭の環境、学校の友人関係、ゲーム・スマホ等による生活リズムの乱れ、周りとのコミュニケーションが取れない、

学業不振、学校の勉強が面白くない等様々で、子ども自身もどうしたらよいかわからず困り、苦しんでいることが多々あります。

一人ひとりに寄り添った支援が不可欠

これまでは学校復帰を重視してきましたが、今後は子ども自らの意思でどうするか選択していく手助けをすることも大事です。そのためには、支援者・子ども相互の信頼関係が欠かせません。

学校では担任だけでなく、スクールカウンセラーやス

クールソーシャルワーカー、養護教諭などいろいろな職員員の関わりとのつながりが必要となります。

職員の多忙化解消と対応職員の増員を

学校では、不登校の子どもたちにチームで対応しています。週に一回関係者が集まり、子どもの状況を共有し、次の支援に活かすことで効果が上がっている学校もあります。同時に教職員は家庭訪問で子どもとつながろうと努力しています。いずれにしても多忙化を極める今の学校では時間と人が全然足りていません。多忙化解消と新たな人材の配置なくして不登校対応は困難です。

悩む保護者の居場所づくり

不登校の子どもの親たちもどうしたらよいかかわからず自分を責めたり悩んだりしています。そんな時、同

日本財団 不登校傾向にある子どもの実態調査

【不登校または不登校傾向にある現中学生と卒業生(中学卒業後～22歳)に聞いた学びたいと思える場所・学びたいと思う環境は】

「自分の好きなことを突き詰めることができる」場所
 「自分の学習のペースにあった手助けがある」場所
 「常に新しいことが学べる」場所

じょうな立場の親同士が語り合い、励まし合うことで前向きに考えられるようになります。そういう交流の場づくりが必要です。教育委員会に支援を求めました。

小郡市の総合計画は3月末に期限切れ

計画延長2年は長すぎると否決

市長、コロナ禍で次期計画できず2年延長提案

小郡市のすべての事業のもととなる第5次総合振興計画が今年3月で終了します。本来なら、4月から新しい第6次計画が始まるはずでしたが、新型コロナウイルスの影響で、市民生活が大きく変わり、計画が策定できませんでした。そこで、市長から現在の計画を2年間延長するという提案がなされました。これに対し、議会で2年延長は長すぎるので、もっと短縮するべきとの意見が出され、採決の結果2年延長案は否決されました。

総合計画は小郡市の屋台骨 前計画から議会も策定に深く関与

これから10年間で小郡市をどんなまちにしていこうか、その基本となる計画が総合振興計画です。道路、土地開発、企業誘致、交通、災害対策、体育館、学校、保育所、地域まちづくり、介護、医療、農業、商業、観光などすべてがこの基本計画に基づいて実施されます。

10年前の第5次計画策定では、議会改革の中で市民代表である議会がもつと将来の小郡について議論し、共に計画をつくらうということになりました。そこで、約半年間、議論を重ね意見をまとめ、計画に反映させました。次の計画もそうなるはずでした。

議会・市民とともに つくる計画を

だから、計画をつくるにあたっては今の小郡の財政を含む実態・課題をしっかり分析し、多くの市民の願いを聞いて、市民みんながまちをつくり上げていく市民主体の計画にしなければなりません。

今回の延長は、やむを得ない所もあり、今後できるだけ早く作るよう議会でも意見をまとめ、市側と調整するよう努力していきます。

**国からの新型コロナウイルス対応
臨時交付金、累計7億円**

**感染予防、生活支援
地域経済下支えなどに活用**

**2月以降、
第3次臨時交付金の
予定**

5月以降、国は、新型コロナウイルス対策として臨時交付金を地方自治体に配分してきました。小郡市はこのお金で学校や公共施設の消毒、臨時雇用、学校のインターネットWiFi整備、タブレット全員配布、ひとり親家庭支援、飲食業者支援、商品券配布などなどの事業を行ってきました。

**12月追加補正分
1億1千500万円**

今回新たに、コミュニティセンター、保育所などにWiFiを整備し、オンライン会議ができるようにします。その他、小6と中3の就学援助費追加など40事業を予算化しました。

収束の見通しは見えず、市民生活はいよいよ苦しくなっています。このようななか、国は、新たに1兆5000億円の臨時交付金を全国の自治体に配分することを決めました。このうち小郡市にいくら交付されるかは2月以降にならないと分かりません。

**本当に困っていると
ころに有効につかう**

これらのお金を決して無駄遣いしてはなりません。困っている市民のためにどう使うか、市民生活をしっかりと見ながら計画を立てるよう求めていきたいと思えます。

この1さつ



あしたのことば
森 絵都

3月から新型コロナワクチン接種 空前の大事業となる予感 市民6万人に1人2回のべ12万回

新型コロナウイルスワクチンが開発され、国は全国で接種を行う準備を始めました。小郡市でも、国の方針に従い体制の整備に全力でとりこんでいます。ただ、これまでにない事業であるだけでなく、いまだ国から細かい方針が示されない中で作業で簡単ではありません。小郡市は、いつ、だれが、どこで、どのように接種するのか医療関係者などと協議を重ね、計画づくりに当たっています。

はじめは、医療関係者から

ワクチン接種は、まず医師や看護師など医療関係者に行うようになっていきます。

次に、高齢者・基礎疾患のある人、介護施設関係者、一般市民の順番となる見通しです。

市内複数の医療機関で

ワクチンは、低温保存設

「海と山どっちが好き」迷っている律に、友だちの周也が投げかけたことば「どっちも好きじゃないの」といっしょじゃないの「がずきつとささりませ。言った方の周也もあとでまづかったと思

備が必要で、機材は国から提供されるようですが、スタッフの体制など考えると接種する場所は一定規模の病院となりそうです。

費用は全額国負担

ワクチン接種にかかる費用は、薬品代、事務費など全額国が出すことになっているので個人の負担はありません。

副反応への不安

すでにワクチン接種が始まっている海外から、副反応の報告があつていきます。副反応については、まだ厚生労働省のホームページでしか情報を得ることはできません。それによると「ワクチン接種後に、接種部位の痛みや、頭痛・倦怠感・筋肉痛等の有害な事象がみられたことが論文等に発表されています」とあります。しかし、まだ十分に検証できていないのが現状です。

接種に当たっては十分説明し不安を解消してもらいたいと思います。

議会つぼり話

トランプ大統領を 反面教師に

11月にアメリカの大統領選挙が行われました。トランプ大統領は、自分の考えに合わない敵を徹底的に攻撃し、否定し、潰すというやり方で、選挙で自らを支持してくれた人々だけを相手にする振る舞いをしてきました。社会には様々な職業、思想、宗教、経済状況の人々が共に暮らしています。考え方が違うのは当然です。けれども、お互い人間同士として互いの尊厳を尊重し合いながら生きていくのが、私たちの目指す社会でなければなりません。そして、それを可能ならしめるのが民主主義です。フランスの思想家ボルテールの有名な言葉があります。「私はあなたの意見には反対だ。しかし、あなたがそれを主張する権利は命をかけて守る」。(よし)